

ぬきし灰より下野事甚し日留土山は火あて焼ぬきより
 たりしといふ事ハ多かりき是より後馬戻下る事止りて
 二月の初およむ九日日夜に雪降りぬけ不と世の人咳嗽
 をいひて次といふ者あつたかして年明けぬきハ宝永戊子正月元
 日大雨はは後祿なりは閏七月七日去手留土山は焼しよりて
 役を諸國に當らる武相駿三州の地は色百石たり莫金三兩を
 同共八日當十大河城鎮秋手屋しに下る三月の以て地
 上白毛をせす一町ありし安しハ炭かしくぬけて家宅地ふ
 い怪ある事といふよりまけは天変地妖れる事止時なくして
 年も暮りしゆいゆのありえしにありぬきハ宝永戊子正月元日

史料の 下總佐倉での降灰 伊能豊利日記 十一月廿八日
 (伊能忠敬の義祖父)

今日之夜三入りありて

御座之夜は雨の降りありて

一 大なる降灰は八府屋とて方々を出入りて今日
 本山出陣平路ありてこれより夜三入りありて降灰

一 海より入りて少敷降灰は夜三入りありて今日夜三入りありて降灰と物
 ありて少敷三入りありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰
 ありて少敷の降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰
 ありて少敷の降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰
 ありて少敷の降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰

此夜を記す

昨日より今日にかけて大なる降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物
 ありて少敷三入りありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰
 ありて少敷の降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰
 ありて少敷の降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰
 ありて少敷の降灰ありて今日夜三入りありて降灰と物三入りありて降灰